

インドネシアのドキュメンタリー映画上映と解説・討論

# 海上の三日月

Bulan Sabit Di Tengah Laut

Crescent Moon Over the Sea

インドネシア／2007／バジョ語、インドネシア語／63分

専修大学外国語教育研究会の本年度第1回企画として、インドネシア映画『海上の三日月』の上映と討論を企画しました。インドネシア語は、本学のユニークな語学科目の一つです。インドネシアは日本との国際交流も好調で、また、ムスリムに対する理解が日本人にとって重要かつ必要となりつつある昨今、インドネシア言語文化を通してムスリムの文化を理解するのは、一つの有効な方法でもあります。ドキュメンタリーを通して、インドネシアについて知ってみましょう。

Bulan  
解説：蓮池隆広

法学部非常勤講師・インドネシア語

進行：土屋昌明

経済学部教授

2017年5月31日(水)

16:35～上映

17:40～解説・討論(18:05終了)

専修大学生田校舎2号館地下1階

Active! Studio 202

作品提供：

山形国際ドキュメンタリー映画祭

インドネシアのブンギン島という3000人の住む孤島と本島のあいだに道路がつくられたことから、ブンギン島の漁村の生活が変化を余儀なくされる。ある漁師の家庭に着目して、本島にある高校を卒業して帰った息子と、むかし気質の父親とのあいだの葛藤を描き出したドキュメンタリー映画。こうした時代の変化にどう向き合うか、という問題は、インドネシアが現在的にかかえている社会的なジレンマである。



ユリ・アンダリ監督は1980年、インドネシア生まれ。ジョグジャカルタのガジャ・マダ大学コミュニケーション学科卒。2005年からドキュメンタリー映画を撮っている。

参加無料・申込不要

問合せ先：専修大学CALL事務室  
i\_call@acc.senshu-u.ac.jp 044-911-0502